



■アジアンアクセス

- 1、新しい働きやリニューアルのために検討が進められています。(牧師研修、教会開拓ネットワーク、教会間パルナバ-励ましあい、新世代(U40)への研修、夫婦と家族の回復、教会リーダーシップジャーナルなど)
- 2、日本における教会増殖ムーブメントのために(JCGI主催ではなく、教会開拓・増殖に関心がある方々たちとネットワークを組んで行う集会です。)

■いのちのことは社

いのちのことは社福音点字情報センターは、視覚障害者の方へ福音を伝える福音文書・霊的成長のための信仰書を点訳しお届けしていますが、保守契約が打ち切られた為、新たな点字プリンター、点字編集パソコンが必要です。購入の為の支援が与えられるようにお祈りください。

■高校生聖書伝道協会(hi-b.a.)

「日本にいるすべての高校生に福音を届ける」というビジョンの実現のために、続けてお祈りください。これまでhi-b.a.の活動をされたことのなかった地域からもお声掛けをいただき、少しずつ新しい展開を見ることができています。各地域と良い関係を築きながら、すべての必要が満たされて前進していくことができますよう、覚えてください。

■こころの友伝道全国連合会

本年8月に開催された第61回鹿兒島全国大会には、九州地域から大勢の参加者・初参加者が与えられ、幸いでした。大会では、教会の本質と使命を再確認しました。主の召しに応え、参加者が恵みを分かち合い、主の愛の心をもって、こころの友として奉仕できますように。

■新生宣教団

- ・ホープ・フォー・リビング フィリピンの働きが祝福されますように。12月初旬までプログラムが続きます。制作されたテキストブックが用いられ、タクロバンの協力教会の働きが支えられますように
- ・迫害下にある兄弟姉妹の信仰生活が守られますように。
- ・世界の聖書の必要に応えることができるように。クリスチャン一人に一冊の聖書を!

■全日本リバイバルミッション

- ・この夏に行われました「環・関西リバイバルミッション」によってイエスキリストを救い主として信じる決心された方が、教会に繋がるすることができますように。
- ・関西地区の教会、クリスチャンの方々か祝福されますように。
- ・計画中の「環・太平洋リバイバルミッション」と日本国内での集会が主の導きの中で計画されていきますように。

■総動員伝道

- 1、奥州街道歩いて伝道(WWJ)が守られるように。
- 2、近々に始めたいと願っている「信徒研修会」のため
- 3、来年の45周年記念企画のため

■小さないのちを守る会

- ①インターネットのホームページが良く活用されて、アクセスしてくる方々との良き相談のれますように。
- ②クリスチャン・トゥーデイの社会コラムに「小さないのちと私たちへあなたに会えてありがとう」が連載されています。多くの方に読まれますように。

③宮崎支部に続いて高松支部が誕生しました。四国地方にいのちの輝きがさらに増し加わりますように。

■太平洋放送協会

- ラジオ番組「世の光」(24局)、テレビ番組「ライフ・ライン」(13局)が用いられるように。
- クリスマス特別番組の制作に入っています。番組担当者に良き知恵が与えられますように。また、クリスマスシーズンに多くのノンクリスチャンの方々か番組を視聴していただき、神さまの愛を知ることができますようにお祈りください。

■東京プレーヤーセンター

- 1、日本中のクリスチャンが聖霊に満たされて元気になり、伝道に励めますように。
- 2、TPCの嵐の礼拝、朝・夕の祈り会に多くの方が参加できますように。
- 3、TPCが祈りの場としてもっと用いられますように。
- 4、「TPC女性メッセンジャーの会」に多くの女性メッセンジャーが与えられますように。

■日本聖書協会

- ・聖書の新翻訳事業が祝福されますように。
- ・耳の不自由な方のための「手話訳聖書DVD」が一日も早く全巻完成され、用いられますように。

■日本宣教リサーチ

- ①日本宣教リサーチの活動が、主から知恵と導きと与えられ順調に進められていくことができるように。特に、「日本宣教ニュース」の発行、日本宣教に関わる現状の調査・分析が用いられるように。
- ②日本宣教における「1%の壁を破る」ための方策や、日本の教会が直面している課題の研究等を通して、日本宣教の進展に少しでも寄与することができるように。
- ③日本宣教に従事されている教会や団体・個人の方との連携を、幅広く深めることができるように。

■ハーベスト・タイム・ミニストリーズ

- ・11月18、19日(大阪)、11月21、22日(東京)に、「日本人の精神構造を探る(2)」と題してクリスチャン・リーダーシップセミナーを開催します。日本人クリスチャンの成長のために用いられるようお祈りください。
- ・伝道サイト「聖書入門.com」のコンテンツが充実してきました。未信者の方々の救いに用いられますよう、お祈りください。

■パラビジョン

日本キリスト教団銀座教会聖歌隊による「メサイア」CDが完成し銀座教会から刊行されます。弊社は制作技術(編集・製品化)を担当いたしました。また、讃美歌CDの新譜リリースに向けた録音も進めています。教会音楽伝道のツールとして用いられますように。

■福音ネット伝道協力会

- ①インターネット配信伝道番組「この指とまれ」が、世界の多くの人々に聴かれるように。
- ②「この指ドラマ館」、聖書ドラマ「イエスに出会った人々」、ノンフィクション日本語版「解き放たれた人生!」、朗読(聖書・名作)の4大コンテンツの毎月更新作業(録音・編集アップロード)が守られるように。
- ③同労者(出演者)現在7人。もっと与えられるように。

■ワンホープ(OneHope)

- 約370教会の子ども伝道の調査をしております。この調査が成功し、次世代伝道の新しい情報と発見がありますように。協力くださっている教会が祝福されますように。
- 今年制作した伝道ツール(子ども聖書アプリ、クリスマス希望のストーリー、Book of Hope)が用いられ、子どもと青年に福音が届きますように。

伝道団体の情報誌

協力 82



伝道団体連絡協議会

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台2-1 OCC 614号室 Tel. 03-3291-5035 www.dendankyo.com

FRONT ESSAY

宣教とメディア・リテラシー



一般財団法人 太平洋放送協会理事長

堀 肇

関わっている世界というより、この時代に生きている者として感じる危機感の一つは情報が溢れ、知ろうと思えばネットなどを通して簡単に必要な知識を入手できるということです。これがなぜ危機かと言えば、そこで得られる情報は実際とはかなり異なるものであったり、時には間違っていたりする場合もあるからです。そこにメディアの怖さがあります。

メディアというものは、それを提供する者が、ある特定の目的や意図をもって、様々な条件や制約の中で作るものです。それは文書でも映像でも音声でも同じです。正確に言えば、それは作り手によってそれが編集・加工されます。つまりメディアは「構成」されるものなのです。問題はそこです。フィクションであることがはつきりしている映画や小説ならともかく、ノンフィクションや通常の情報伝達の場合、作り手次第で「構成」されたものが真の「現実」から離れてしまうことがあるのです。ホームページひとつとっても、実態とは程遠い事業があちこちに紹介されている時代です。

こうした現実を考えると、メディアの発信者は、それがどういう種類のメディアであれ、正しく良心的に作らなくてはなりません。また受信者も案外無防備な状態にありますから教育が必要になります。一般にこれを「メディア・リテラシー」(media literacy)の教育と呼んできましたが、これはメディアによる情報を主体的に読み解き、評価、識別、活用する能力を養うということです。日々押し寄せてくる情報に、偏り、嘘、誇張などの間違っただけの情報がないかどうかをよく知る能力を教育することが必要なのです。

これは単に受信者が情報操作や誤報に敏感になれということではなく、情報というものは構成次第で人の心を操作してしまいますから、真偽を確かめ取捨選択できる能力を身に付ける必要があるということなのです。それと共に福音宣教において私たち(発信者)は、それが文書であれ放送であれ、書き手や語り手、また編集や構成に携わる人たちは、受けを狙わず、奇をてらわず、「真理のみことばをまっすぐに」(IIテモテ 2:15)伝えたいと思うのです。この情報過多の時代の中で、人々は本当の言葉や真実な世界を求めています。その意味でメディア・リテラシーを再考する必要があるのではないのでしょうか。

『協力』82号

発行日:2014年10月29日 発行所:伝道団体連絡協議会 郵便番号101-0062 東京都千代田区神田駿河台2-1 OCCビル 614号室 TEL.03-3291-5035 FAX.03-3291-5266 www.dendankyo.com info@dendankyo.com 発行者: 堀肇 印刷: 新生宣教団(1000部)



